

## 佳作

### 諦めない心

青森県弘前市立船沢中学校

2年 對馬 煌栞

「泣いてもいい、逃げてもいい、ただ諦めないでやり続ける」

私は、何度この言葉を自分に言い聞かせたでしょう。そう、私には、泣きたかったことや、逃げたかったこと、諦めたかったことが今まで何度もありました。

私は陸上部で、100メートルやリレーに出場しています。1年生の中体連では、初めての大会でしたが、100メートルの種目で県大会に行くことができました。中学校に入学してから陸上を始め、たくさんの貴重な経験をさせていただき、その経験を通して私は陸上が大好きになりました。グラウンドが使える日はもちろんですが、雨の日も凍えるように寒い冬も、屋内で練習を一生懸命にやってきました。

5月17日。春季大会が行われました。オフシーズンに頑張ってきた練習の成果が試される大会です。私は、自分は万全の状態だと思い、大会に挑みました。ところが、100メートルの結果は13位に終わりました。リレーでも、私はバトンパスが不安で後ろを見ながらバトンをうけとってしまい、うまくつなぐことができませんでした。その日は、悔しい気持ちが溢れてきました。

「自分は大丈夫なのか」

「どうすればよかったのか」

私はこれからがどんどんこわくなっていきました。しかし、「このままではだめだ」と自分に言い聞かせました。そして、夏の中体連に向けて、今まで以上にたくさん練習をしました。

6月7日。中体連夏季大会1日目。どきどきの気持ちで100メートルの招集場所へ向かいました。今までのたくさんの思いがこみ上げてきます。緊張で胸がいっぱいになります。

「オンユアマーク。セット。バーン」

あっという間にレースは終わりました。結果は10位。入賞も、目指していた県大会へ行くこともできませんでした。私は自分の気持ちをもう一度奮い立たせました。「まだリレーがある。」リレーはその日の最後の種目。緊張しながらリレーメンバー4人で招集場所に向かいました。

「バーン」

1走がスタートし、3走まで順調にバトンが渡りました。3走からバトンを

渡された瞬間私の体にエネルギーが湧き上がりました。そして自分の得意な後半の走りを生かしてチームとしてのベストタイムを更新することができ、ゴールした私には笑顔が溢れていました。

いつも心でつぶやく「泣いてもいい、逃げてもいい、ただ諦めないでやり続ける」この言葉は私に挑戦する力や、諦めない真っすぐな気持ちを与えてくれました。

皆さんには今頑張っていることはありますか？ 進路、友達、勉強、部活、私たちは頑張らなければいけないことがたくさんあります。

でも、自分が希望する進路に挑戦しようとするれば不安になり、友達に自分のことや本音を伝えると、どう思われたのか気になったりしてしまいます。勉強や部活動を頑張っても結果が出ないときもたくさんあります。私も「自分はこれでいいのか」「自分にはできるのか」「無理なんじゃないか」と、どんどん自信がなくなりました。そして、たくさんのお悩みを誰にも打ち明けず、一人で抱え込んでどうにもならなくなったときがありました。

そんなとき、自分を支えてくれる、いつも一緒にいてくれる仲間や家族、先生の存在に気づきました。思い切って悩みを打ち明けてみると、気持ちが少し楽になり、前に進む力が湧いてきました。

私のように頑張っているのにつらい気持ちを抱えている皆さん。お願いだから、あきらめずにやり続けてください。今はとてもつらいかもしれませんが、ですが、やり続けることで未来は開けていきます。つらくて、いやでやめてしまったら、その先の未来は生まれません。ただ諦めずにやり続けることが大きな力になるのです。つらくても、周りを頼ってでも決して諦めずにやり続けてください。いつか大きな力になるはずです。私は、皆さんの頑張りを少しでも支えられればと思いこの作文をかきました。そして私は、一緒につらくてもやり続ける力を信じていきたいです。